

NPO法人と労働組合がコラボして 「親子ものづくり教室」を 大阪で開催



電機連合大阪地方協議会事務局長 篠原 浩

連合大阪金属部門連絡会(兼JCM大阪地区協)は、2014年2月22日(土)午前10時から12時半まで、大阪府門真市にあるパナソニック・ユニオンプラザで、NPO法人「教育支援・Kidsもりぐち」とコラボして、初めての「ものづくり教室」を実施した。

「Kidsもりぐち」で学ぶ小学生4年生33名が、保護者・家族14名と共に参加し、ニッパーやペンチなど工具を使いながら、ミニバイク作りに取り組んだ。連合大阪金属部門連絡会(兼JCM大阪地区協)から、スタッフ6名が参加しサポートした。

「Kidsもりぐち」は、2012年5月に、大阪府守口市で教育に携わってきた教職員OB・OGが中心となって、地域での教育支援活動を行うために立ち上げたNPO法人であり、小学3年生並びに4年生を対象に、学習支援活動、幅広い体験学習、教育や子育てについての相談受付などの活動を地道に行っている。「Kidsもりぐち」としても、設立当初より体験学習の一環として、「ものづくり教室」を開催したいとの意向があった。

Kidsもりぐちより、電機連合大阪地区協へ賛助会員加入の要請があり、賛助団体として活動面もコラボすることを前提に要請を受託。JCM大阪地区の事務局を担っている関係から、JCM大阪地区協の活動に、ものづくり教室を展開することを提

起し、金属・ものづくり産業の労働組合で構成する、連合大阪金属部門連絡会(兼JCM大阪地区協)として、次世代のものづくり産業を担う小学生を対象に、「ものづくり教室」開催の了承いただいた。

当日はインフルエンザなどにより欠席もあったが、小学4年生33名が参加、保護者・家族、NPO法人、連合大阪金属部門連絡会(兼JCM大阪地区協)スタッフ、総計62名での開催となった。

実際の「ものづくり教室」としては、現在の小学生が工具(ニッパー、ミニペンチ)の使い方や、ネジ締めの方法も知らない状態で、その使い方から入る必要がある、想定した120分ではミニバイクキットの完成に到らず、30分程度延長し、形作りを試みたが全員の完成までには到らなかった。改めて、子供への作業指導を行うことの難しさを痛感させられた。

NPO法人の事務局からは、「残念ながら全員は完成できませんでしたが、子供達に貴重なものづくりの体験をさせていただけました。子供達は、慣れない工具とも格闘しながら、とても集中して頑張っていました。あんなに集中して取り組む子供達の姿を見たことはありません。良い経験をさせていただきました。また一度反省会をして、来年も是非ともお世話になりたいと思います」との感想が寄せられた。

